

施策番号	0703		
施策名	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）		
概要	多様化する要望にこたえて、スポーツ施設の柔軟な運営と良質なサービスの提供を行うほか、スポーツを支えるしくみづくりや、スポーツを支える組織の人材確保を進める。		
担当局・部室	文化市民局・市民スポーツ振興室	共管局・部室	
上位政策	7 スポーツ		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市市民スポーツ振興計画		

施策の評価

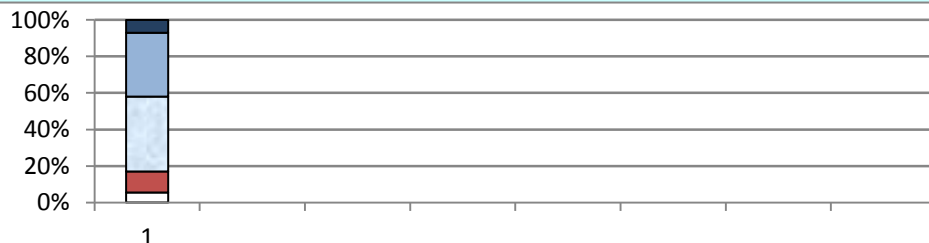
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)	b	a	9,126	9,262	9,223	100.4%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	スポーツイベントや運動会、レクリエーションなどの活動 を、スタッフやボランティアとして支えるひとが増え ている。	36	179	210	59	28	512	c
		7.0%	35.0%	41.0%	11.5%	5.5%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						c



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						24 年度	B
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	c			
(重み付けの理由) スポーツ活動の支え合いが身近に感じられることが重要であるため、市民の実感を重視する。							23 年度	C
(原因分析) ・客観指標については、京都マラソンの開催により、同大会のボランティアが加わり、平成23年度以降、大幅に増加しているため、a評価となった。 ・市民生活実感評価では、「そう思う」「どちらかと言うとそう思う」の合計が42%であり、前年度の35%と比較して増加している。京都マラソンへのボランティア参加増によって、市民の実感増に繋がっていると考える。								

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	スポーツ推進委員	25,863	26,504	普通	文化市民局
2	市民スポーツフェスティバル	16,984	19,489	良い	文化市民局
3	全京都大学野球トーナメント大会	4,539	4,628	良い	文化市民局
4	体育振興会事業助成	19,735	24,392	良い	文化市民局
5	国体派遣補助	1,348	1,348	かなり良い	文化市民局
6	京都市体育協会運営補助	25,444	13,372	良い	文化市民局
7	京都マラソン	467,472	475,870	良い	文化市民局
8	京都マラソン魅力アップ事業	12,718	32,568	—	文化市民局
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・平成26年2月16日(日)に京都マラソン2014を開催し、大会を支えていただくボランティアの増加を図るとともに、大会をきっかけとしたスポーツの魅力発信に努め、スポーツボランティアの意義を伝え、「支えるスポーツ」のさらなる振興を目指す。

施策名	0703	多様なスポーツ活動を支え合っているまちづくり（「支えるスポーツ」）				
指標名	市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数(人)					
担当課	市民スポーツ振興室		連絡先	3 6 6 - 0 1 6 9		
1 指標の説明						
市主催のスポーツ事業のボランティア参加者数						
2 指標の意味						
市主催のスポーツ事業において市民の間でスポーツ活動を支え合う動きが活発化する状況を示す指標(支えるスポーツ)						
3 算出方法・出典等						
出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	9,126	9,262	136人増	9,223	23年度現況値（9,126人）と32年度目標値（10,000人以上）から各年度の目標を等差的（97人増/年）に算出	100.4%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		10,000人以上	32年度	92.6%	多くの市民ボランティアが参加する京都マラソンを開始した平成23年度の現況値9,126人から約10%増の10,000人以上の参加を目標とする。	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a:100.0%以上 b:90%以上～100%未満 c:80%以上～90%未満 d:70%以上～80%未満 e:70%未満						
6 基準説明						
当該指標については、目標値以上を達成したときをaとし、以下10%刻みで基準を設定した。						
7 評価結果						
23		24		25		
b		a		a		